



NIPPON PAPER
GROUP

第 2 次 中 期 経 営 計 画

2006年度～2008年度

代表取締役社長 中村 雅知

株式会社日本製紙グループ本社

2006年5月

<http://www.np-g.com/>

Copyright © 2006 Nippon Paper Group, Inc. All rights reserved.

The 1st Step towards Group Vision 2015

Shifting Our Focus towards Achieving Sustainable Growth

section **A**

第1次中期経営計画のレビュー

section **B**

第2次中期経営計画の経営課題と主要施策

■ 経営環境

■ 経営課題

■ 主要施策

① オイルレス化

② 省資源化

③ 洋紙生産設備S&B

④ 海外事業

section **C**

第2次中期経営計画のまとめ

section

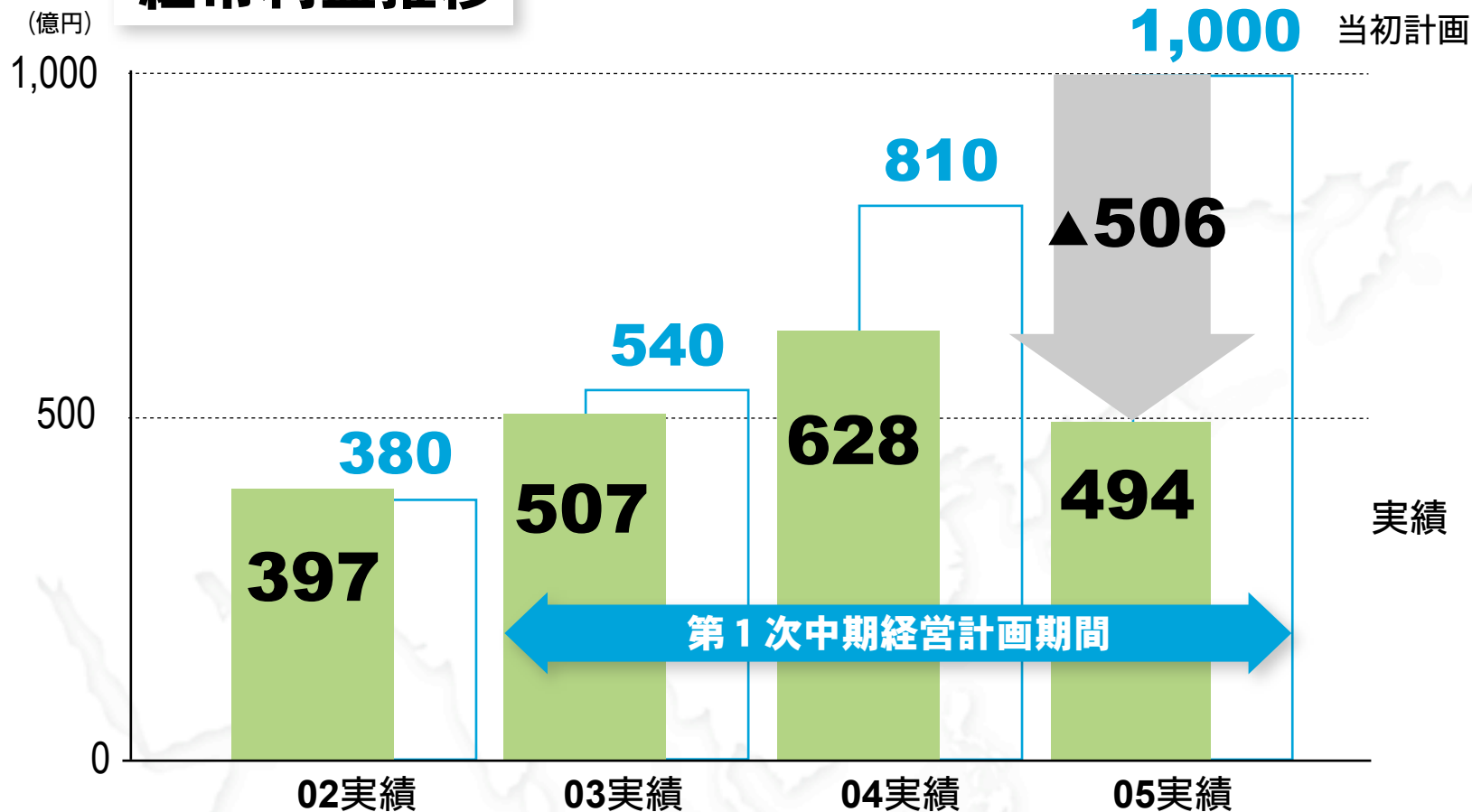
A

第1次中期経営計画のレビュー

2003年度～2005年度

A. 第1次中期経営計画のレビュー

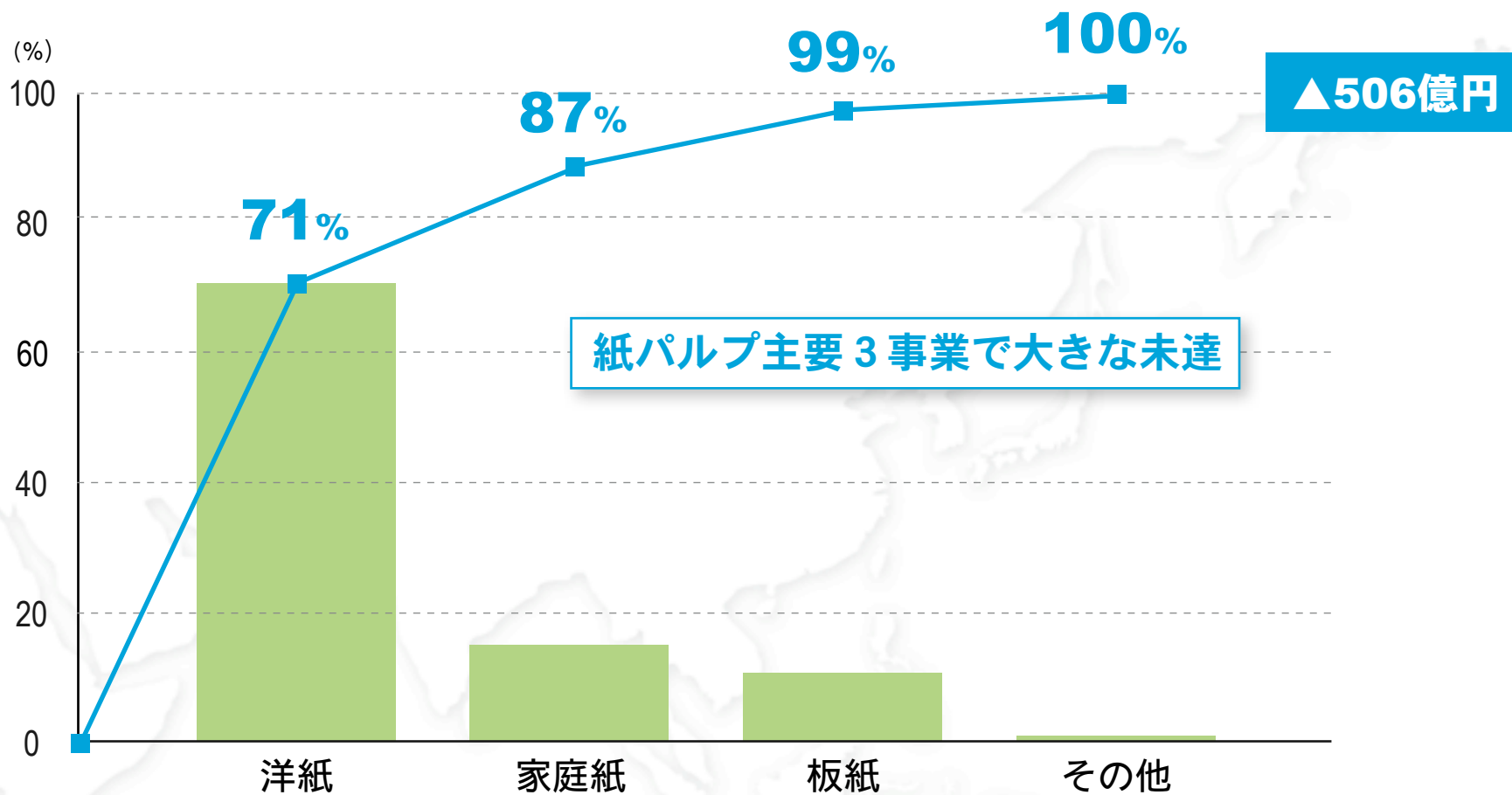
経常利益推移



A. 第1次中期経営計画のレビュー



事業別経常利益未達状況

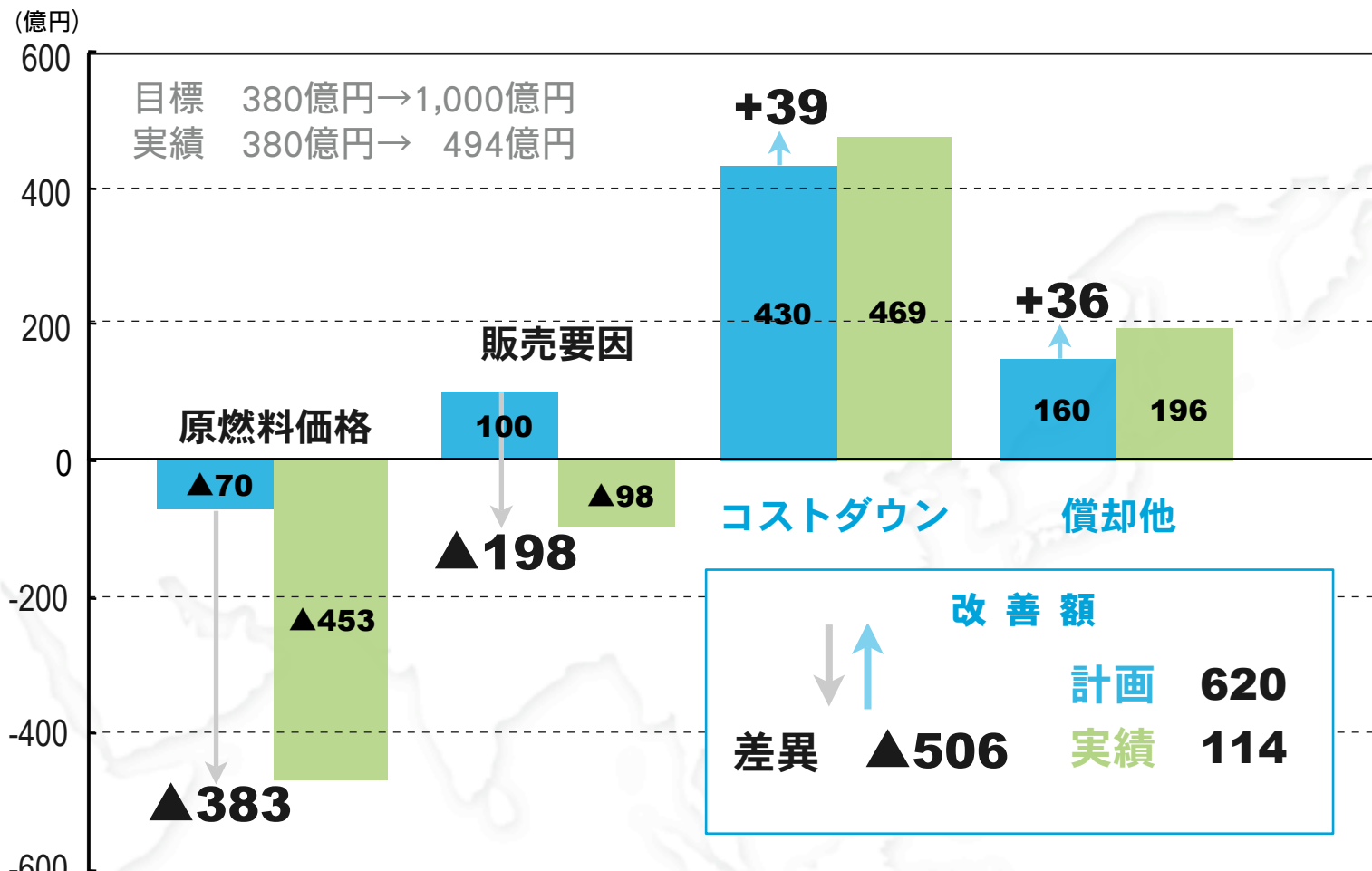


注：主要事業会社の経常利益を使用 ■洋紙：日本製紙 ■家庭紙：クレシア ■板紙：日本大昭和板紙

A. 第1次中期経営計画のレビュー



経常利益増減要因まとめ 当初計画と実績比較



■ 当初中計 ■ 実績

section

B

第 2 次 中 期 経 営 計 画

2006年度～2008年度

■ 原燃料価格の高騰

■ 国内市場の成熟化

高齢化社会、人口減少時代が到来

■ 国際競争の激化

東アジア市場の形成

国際価格への収斂

企業価値成長に向けた「攻めの経営」

■外部環境影響の極小化

→オイルレス化＝新エネルギーボイラー、古紙活用

■アジア市場で勝ち抜く国際競争力

→国内基幹工場への大型集中投資

■蓄積した最先端技術の活用

→嵩高紙・省資源紙の積極展開、
アグリバイオ事業開始 2006/4～

■体制強化

→人的資源の戦略的再配置

→技能継承、現場力強化、海外要員育成

→持株会社の体制整備、ガバナンス強化

B. 主要施策



■ 戦略投資

① オイルレス化

→ 新ボイラー

600億円

② 省資源化

→ DIP増配対策

150億円

③ 国際競争力の追求

→ 洋紙生産設備のS&B

630億円*

*：石巻DIP増設77億円を含む

3年間で3,000億円の積極投資を実行

**コアの紙パルプ事業に集中投資、
国内の事業基盤を強化**

B. 主要施策：①オイルレス化

バイオマス・廃棄物ボイラー設置推進

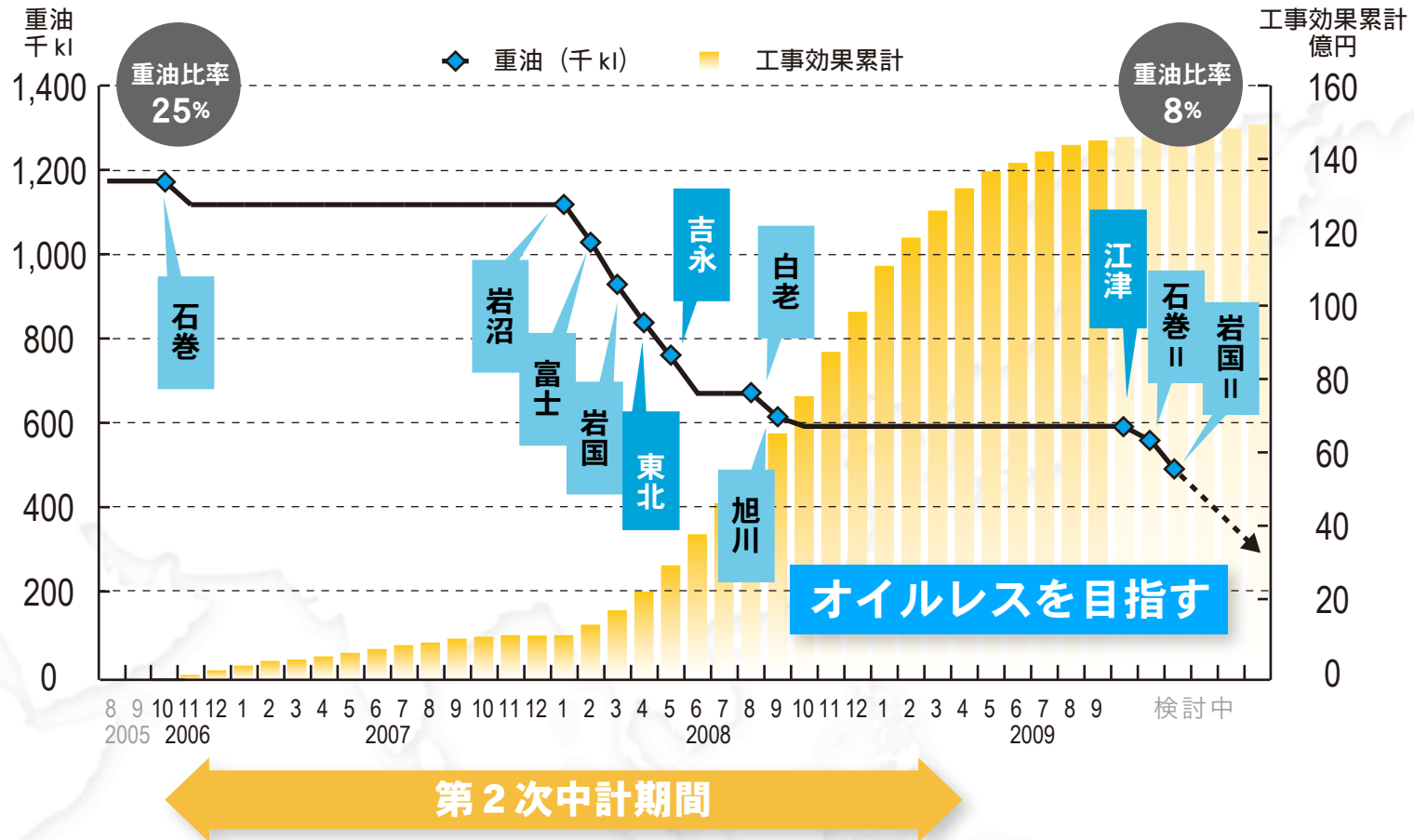
第2次中計期間

運転開始		工場		種別	蒸発量	重油削減	投資額	工事効果
年	月	会社	工場		t/h	千kl	億円	億円
2006	10	日本	石巻	バイオマス	180	55	53	11
2008	1	日本	岩沼	新エネルギー	230	87	115	32
2008	2	日本	富士	バイオマス	230	103	64	13
2008	3	日本	岩国	バイオマス	180	86	90	16
2008	4	日大坂	東北	石炭	180	76	59	20
2008	5	日大坂	吉永	新エネルギー	180	89	67	22
2008	8	日本	白老	新エネルギー	280	55	90	22
2008	9	日本	旭川	バイオマス	170	5	69	9
第2次中計期間計						557	606	145
検討中	ケミカル	江津	新エネルギー			50		
	日本	石巻II	新エネルギー			70		
	日本	岩国II	新エネルギー			70		
総 計						747		

工事効果は当初公表ベース

B. 主要施策：①オイルレス化

各ボイラー設置後の重油使用量見通し



B. 主要施策：②省資源化

業界のリーディングカンパニーとして 古紙の利用促進を推進

- ①製品への増配
- ②DIP設備の増設



日本製紙連合会の努力目標

2010年度までに古紙利用率60%→62%に向上させる

B. 主要施策：②省資源化

日本製紙のDIP能力

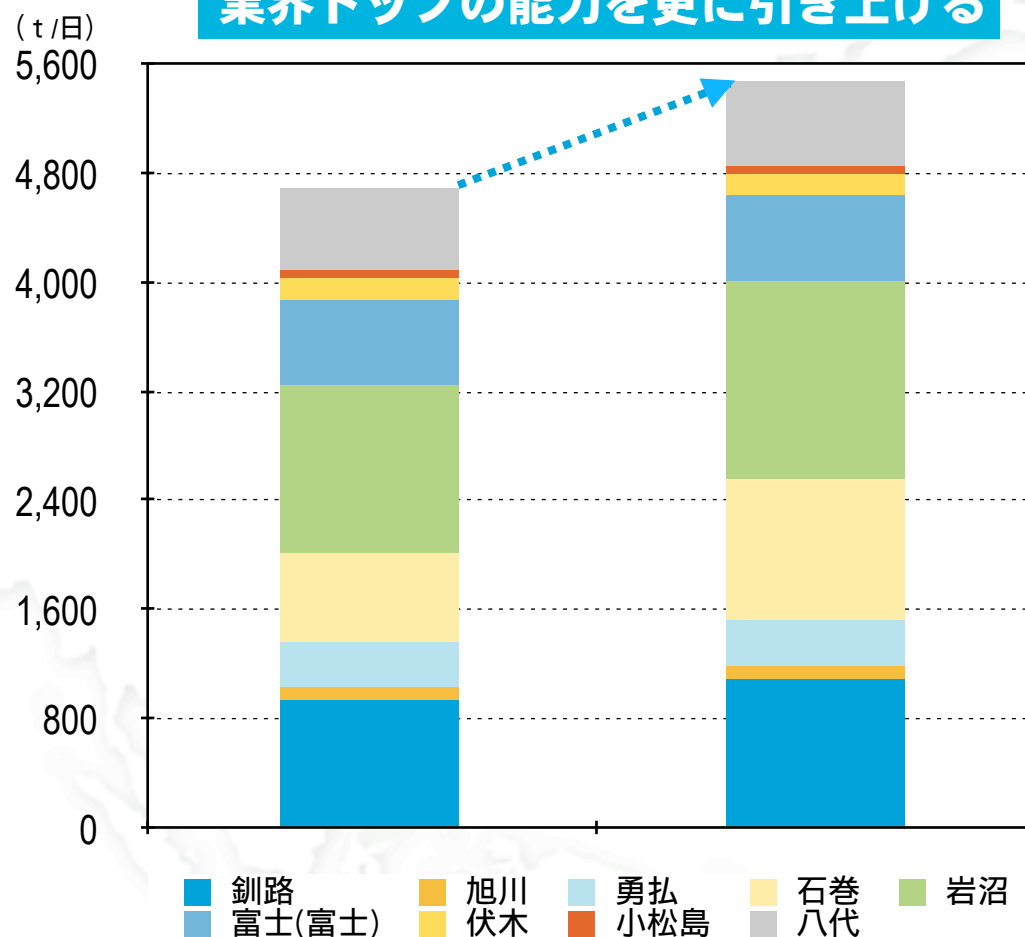
現在

	(t/日)
釧路	920
旭川	100
勇払	340
石巻	640
岩沼	1,230
富士(富士)	630
伏木	155
小松島	60
八代	600
合計	4,675

増強計画

	(t/日)
岩沼	800
八代	
石巻	
釧路	

業界トップの能力を更に引き上げる



B. 主要施策：③洋紙生産設備S&B



最強の生産体制・生産設備構築

アジアマーケットで勝ち抜くため

生産設備の

大型化

効率化



スクラップ&ビルドによる大型投資

B. 主要施策：③洋紙生産設備S&B



■石巻工場 N 6 マシン概要

世界最高速※

- ①稼働予定時期：2007年11月
- ②設備投資額：630億円
- ③生産品種：軽量（A 3）コート紙、微塗工紙
- ④年産能力：35万トン（日産能力1,005トン）
- ⑤抄紙機種別：高速オンマシンコーター
- ⑥ワイヤー幅：9,450mm
- ⑦運転速度：1,500m/分（設計速度：1,800m/分）
- ⑧運転要員数：8名/直（予定）
- ⑨その他の設備：古紙パルプ設備増設 400トン/日
自製填料（炭カル）設備増設 100トン/日他

※：ブレードコーター、多段カレンダーのオンマシンコーターとして

B. 主要施策：③洋紙生産設備S&B

■ 停機生産設備

名 称	年産能力 (万トン)
①日本製紙石巻工場 3号抄紙機	5.0
②日本製紙石巻工場 5号抄紙機	5.0
③富士コーテッドペーパー社吉永事業所 30号コーター	10.0
④富士コーテッドペーパー社富士事業所 31号コーター	7.0
⑤富士コーテッドペーパー社富士事業所 32号コーター	7.0
合計	34.0

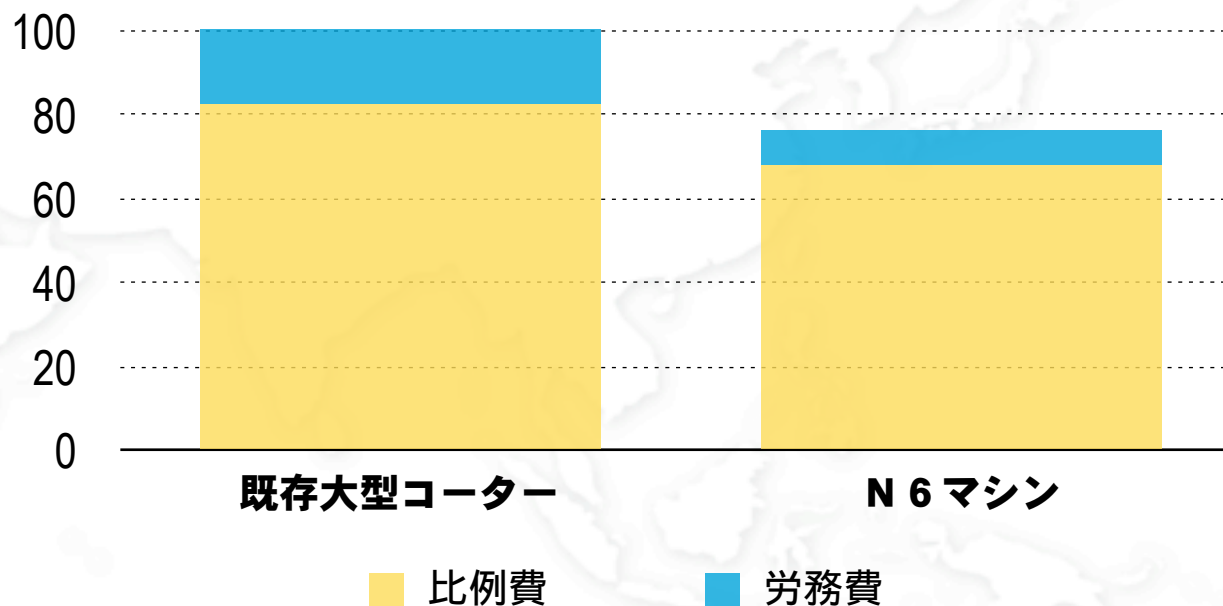
B. 主要施策：③洋紙生産設備S&B

高速オンマシンコーターの優位性

生産性比較

石巻N6マシン	操業要員	44人	8千t/年/人
停機5台	操業要員	163人	2千t/年/人

製造コスト比較



B. 主要施策：④海外事業



■ 欧州 感熱紙増産（36千t→66千t／年）、拡販

2006年10月運転開始

■ 北米 ノーパック印刷出版用紙の現地拡販 事業再構築の推進

■ アジア

アジア事業本部設置

中国・華南地区（広州）に駐在所を設置

- ・ 段ボール事業拡張

→ 上海恒富紙業への出資比率引き上げ

→ 生産能力アップ

3千万㎡→5千万㎡（2007年）→1億㎡／年（2010年）

- ・ 段ボール原紙事業拡張検討

その他 マレーシア、タイ、インドなどでの事業検討

アジア市場向け戦略マシン構想

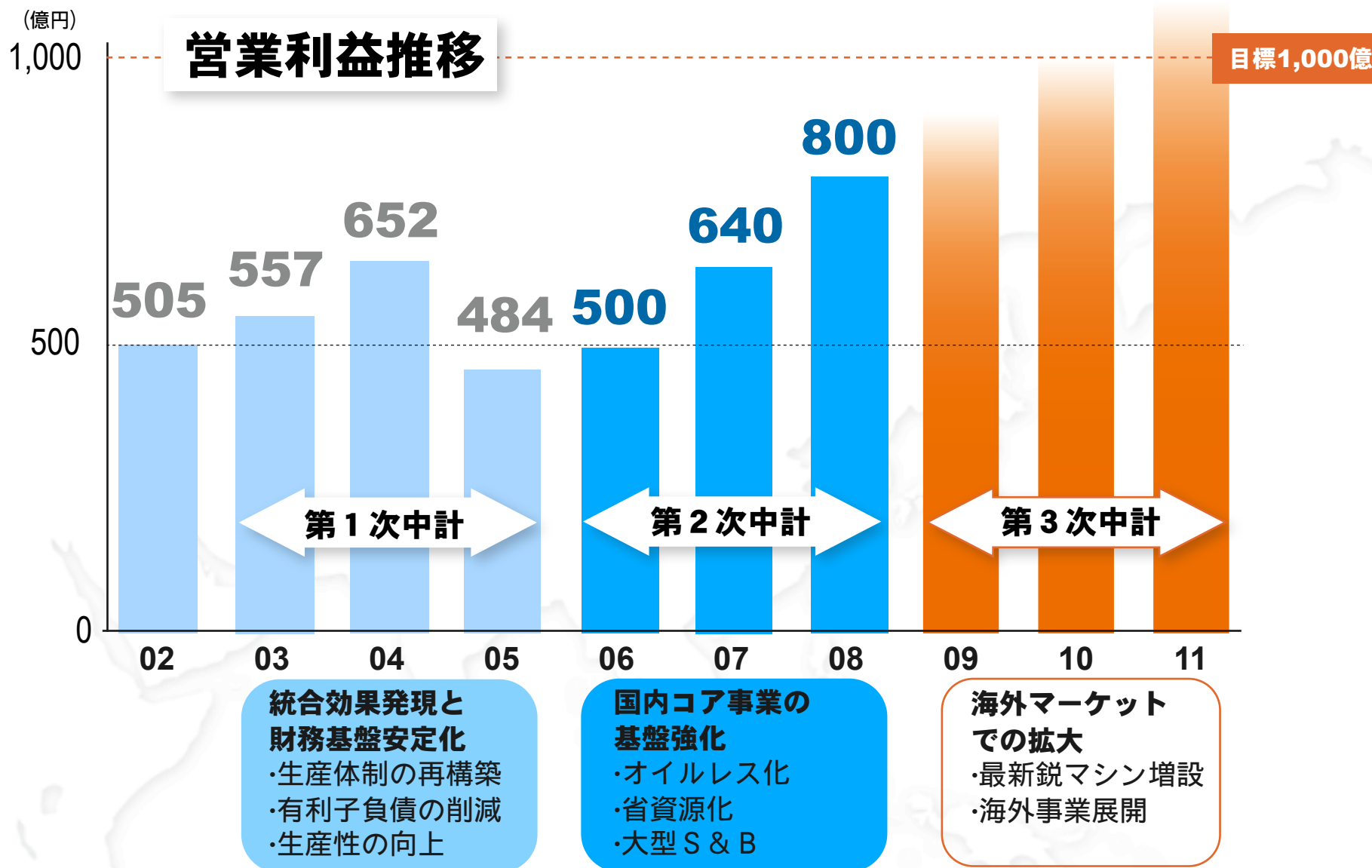
section

C

第2次中期経営計画のまとめ

2006年度～2008年度

C. 第2次中期経営計画のまとめ



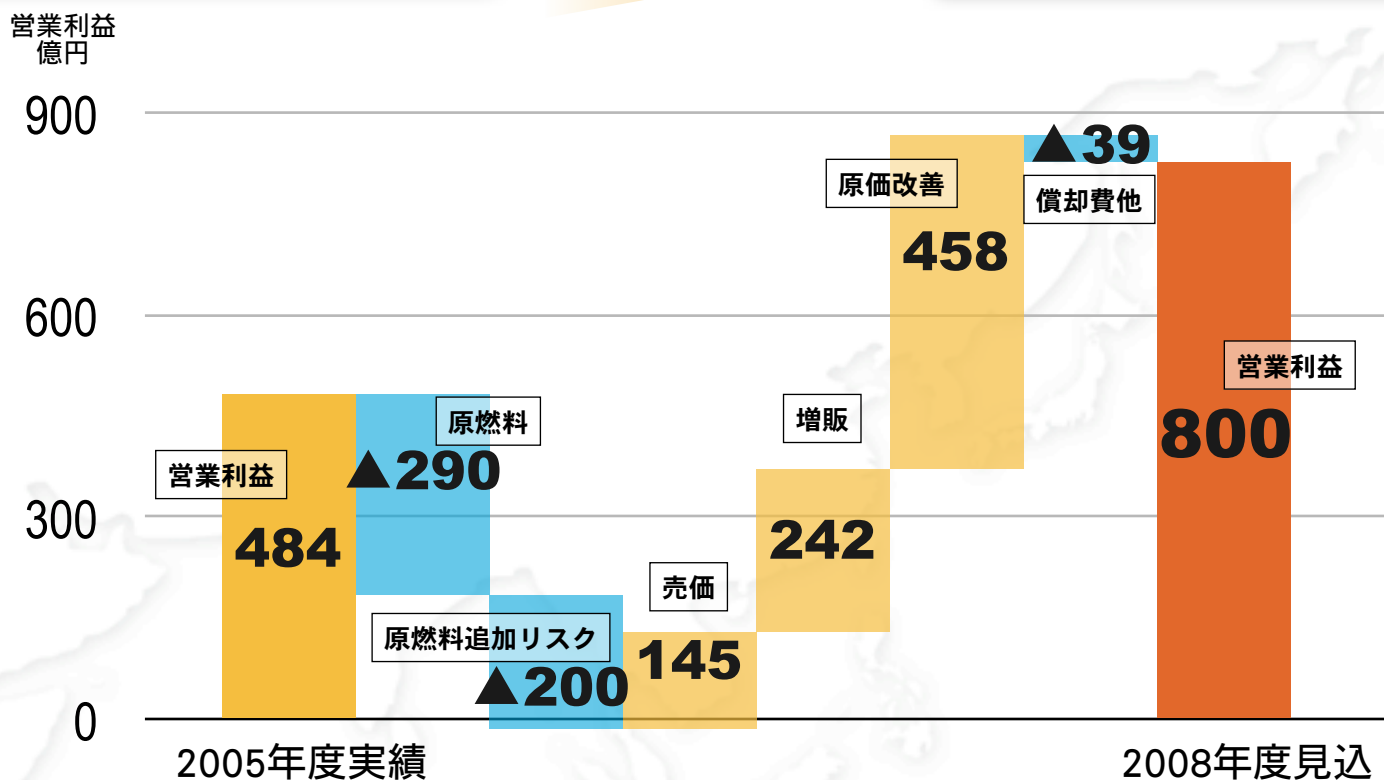
C. 第2次中期経営計画のまとめ

営業利益の増減要因 (2005年度対2008年度)

2005年度 484億円

+316億円

2008年度 800億円

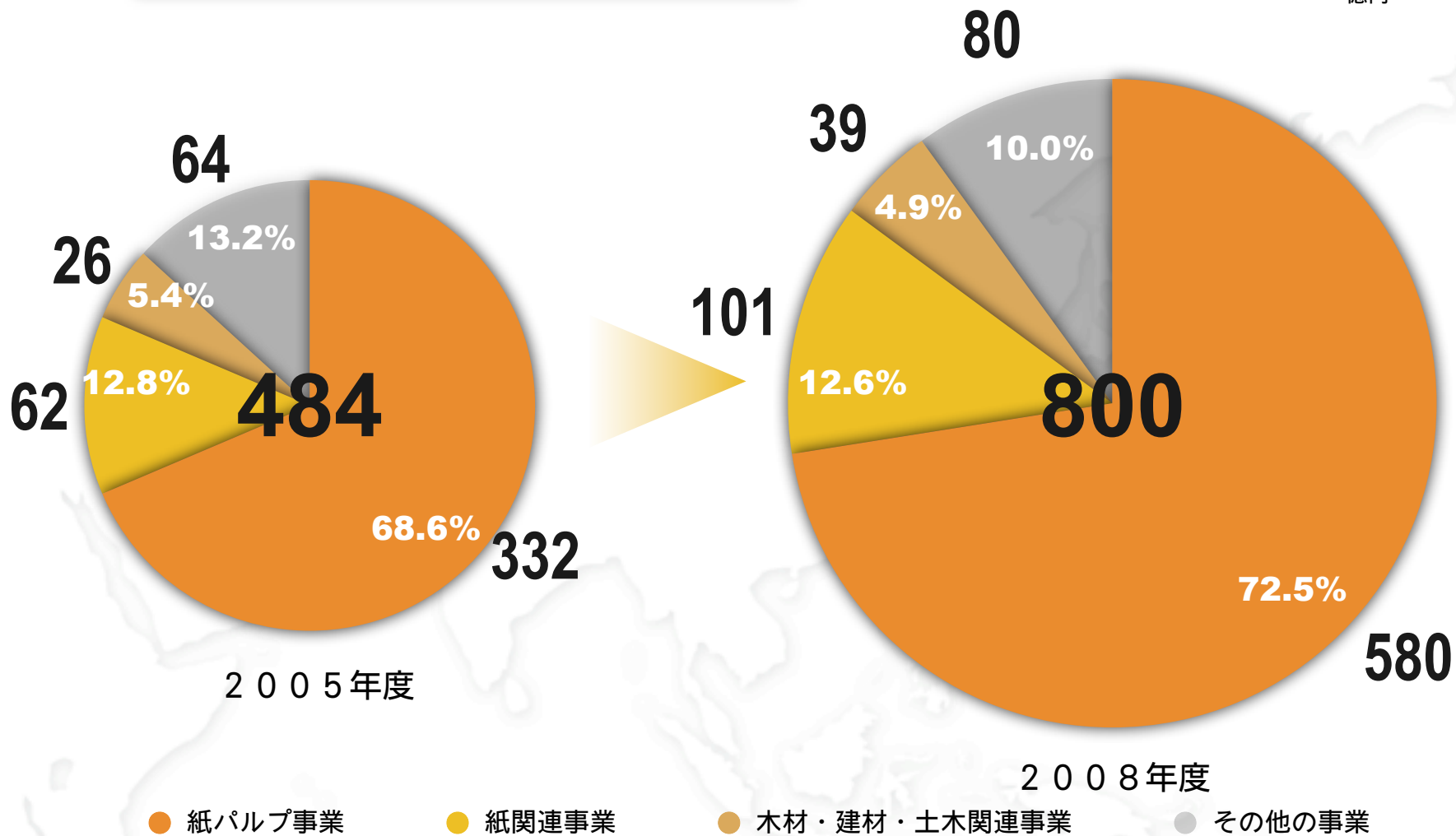


C. 第2次中期経営計画のまとめ



事業別2008年度営業利益

営業利益
億円

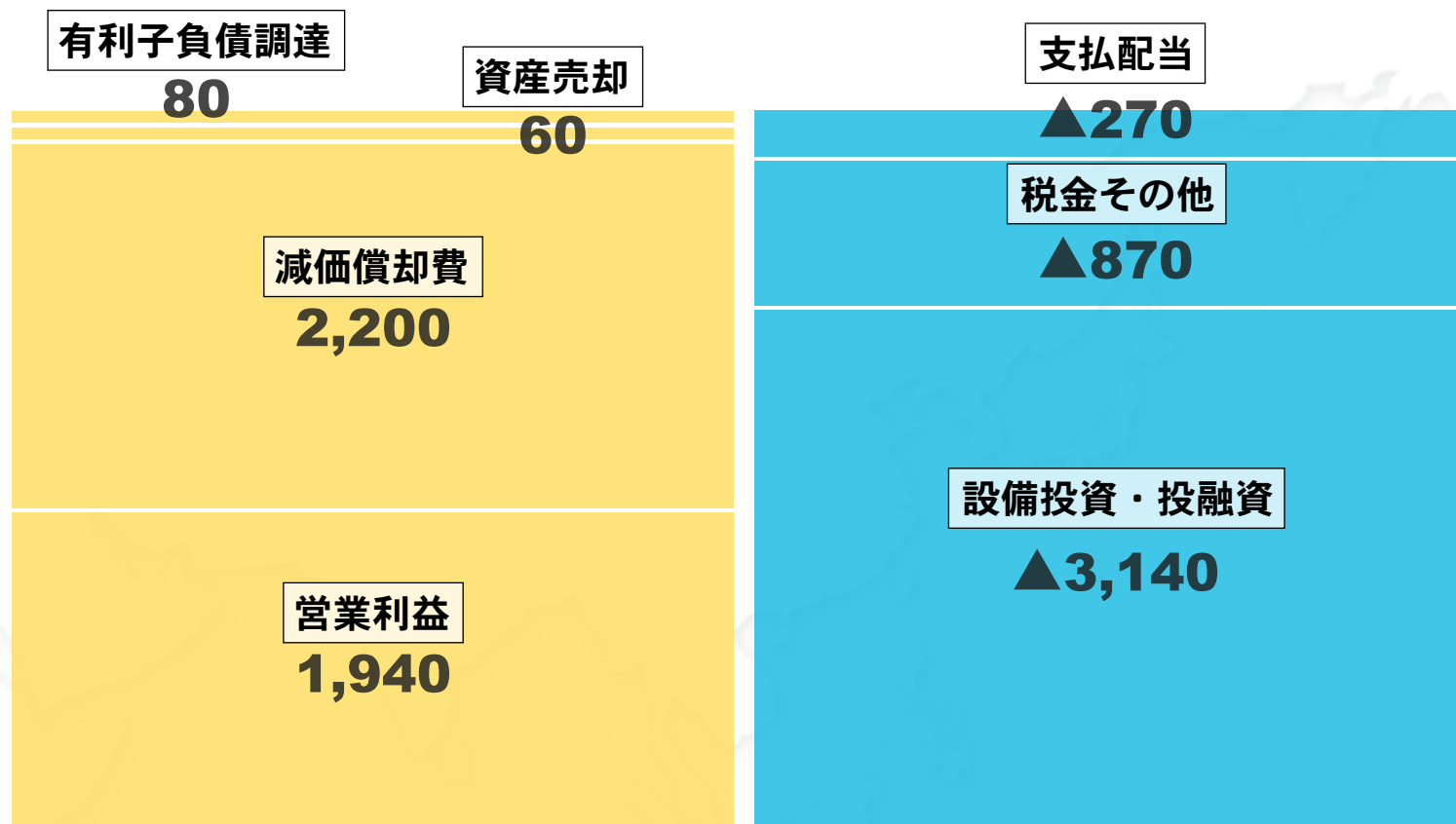


C. 第2次中期経営計画のまとめ



3年間の資金収支（2006～2008年）

単位：億円



C. 第2次中期経営計画のまとめ：経営指標



グループビジョン2015の指標

	2005年度	2008年度	グループビジョン 2015
営業利益	484億円	800億円	国内1,000億円 +海外
売上高営業利益率	4.2%	6.4%	8～10%
営業キャッシュフロー※	950億円	1,200億円	1,500億円

その他の指標

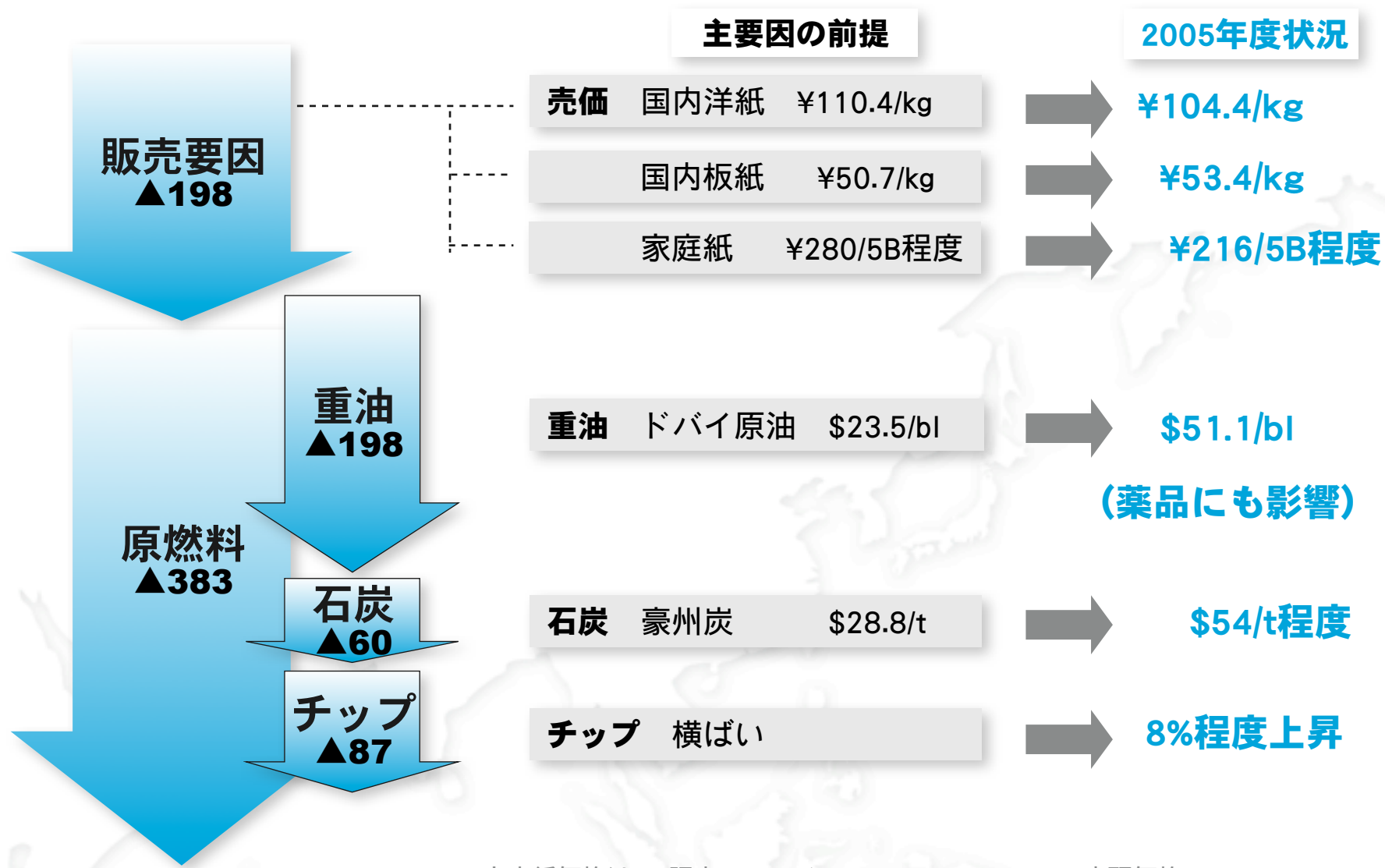
※：期末処理を除く実質キャッシュフロー

ROE	3.9%	8.0%
ROIC	5.0%	7.0%
株主資本比率	29.5%	31.2%
有利子負債残高	6,921億円	7,000億円
D/E比率	1.5倍	1.4倍
正規従業員	12,798人	12,000人

DATA

予備資料

DATA. 第1次中期経営計画のレビュー：要因別



家庭紙価格はSCI調査のフェイシャルティッシュー5Box店頭価格

DATA. 第2次中計の前提



		2006	2007	2008
GDP		年率2%程度の伸び		
国内市場 洋紙・板紙		←	横ばい	→
原燃料	ドバイ原油	\$60/BL	原燃料全体で 対前年100億円の コストアップリスク	
	石炭(豪州)	\$50/t		
為替	US\$	← (上期117円)	115円	→
	AU\$	←	86円	→
売価	洋紙・板紙	価格修正	06年度売価維持	
	家庭紙	←	横ばい	→



NIPPON PAPER
GROUP